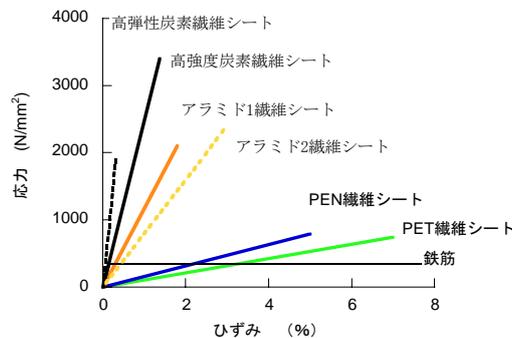


連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補強技術

分類コード	A-07 コンクリート構造物の補強技術 (工法(システム)・機器・材料)		
関連分類コード			
事例集リンク	(有) (無)		
問合せ先	会社名	前田工織(株)	T E L 03-3663-7897
	部署	環境資材事業本部	F A X 03-3663-9930
	住所	〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町9-9 SCI 日本橋ビル5F	
	E-mail・URL	E-mail : m_saitou@mdk.co.jp	URL : http://wwwmaedakosen.jp
内容	対象構造物	コンクリート構造物全般	
	項目	コンクリート構造物の補強技術	
	使用機器		
使用実績	実績多数あり。		
<p>〔工法の特長〕</p> <p>様々な種類の連続繊維シートが、コンクリート構造物の補強や剥落防止のために使われている。連続繊維シートは、材質によってその特性が大きく異なることから、設計に際しては、対象となるコンクリート構造物の部位や補強の目的を明確にした上で、適切な材料を選択する必要性が生じる。</p> <p>たとえば、塑性ヒンジ区間に伸度の大きい高伸度繊維シートを、そしてその他の区間には、高剛性繊維シートを使うなど、機能別に繊維シートを選択・適用することで、必要なじん性率を確保することのできる繊維系シート巻き立て工法もあり、様々な繊維シート技術を展開している。</p>			
<p>〔シートの特性〕</p> <p>繊維の応力-ひずみ関係は線形で、伸度は鉄筋降伏点の1.5~20倍程度となっている。</p>			



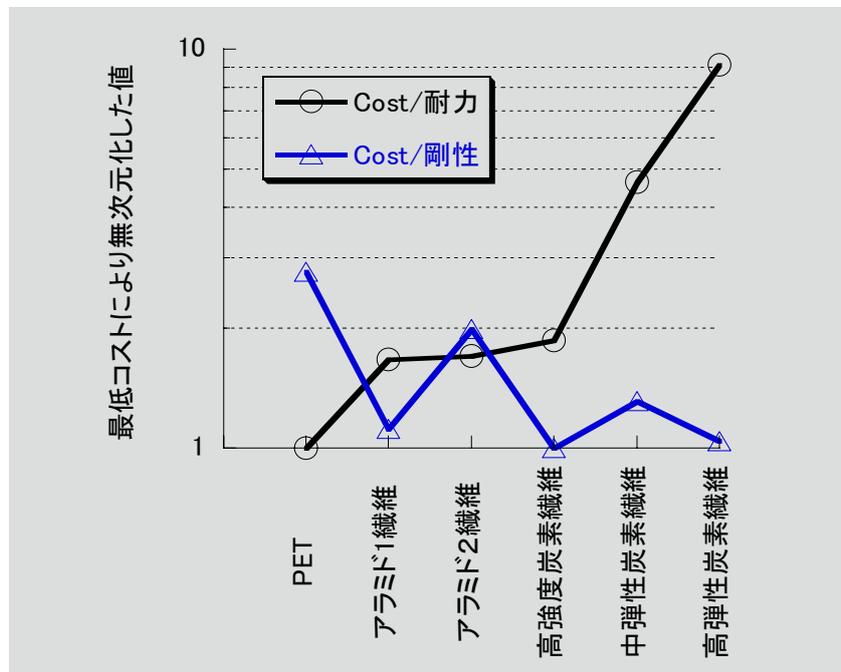
〔施工事例〕



アラミド繊維による橋脚の補強

〔価額特性〕

要求される構造物の耐力と剛性で、適用されるシートが決まる。



繊維の種類とコストの傾向

参考文献(発表論文)	—				
特 許 取 得	・有	・無	・出願中	資料作成日	2011年1月